



1学期を振り返って～「自分の目標」

校長 岩 佐 延 寿

第1学期が本日で終了いたしました。

新しい学年が始まり、生徒たちが、緊張と期待の入り混じった表情で登校してきたのが、つい昨日のこのように感じています。

さて、今年度の1学期始業式(2, 3学年)では、「新しい年度をスタートするにあたって、自分の目標を考えてください」と、次のような話をさせていただきました。



「自分の目標」についての、4つのサイクル。

- ① 自分がどんな風になれたら、うれしいかを考え「目標」を立てましょう。
- ② 「目標」を達成するために、どんな「作戦」でいくのかを考えましょう。
- ③ 立てた作戦を「試しに実践(練習)」してみましょう。
- ④ 自分で、「今日の実践(練習)はどうだったか」「何か気付いたことはあったか」を振り返り、「次の実践(練習)では、どんなことに挑戦してみようか」を考え、次の①「目標立て」や②「作戦」につなげていけるようにしましょう。



本校の学びの基本は、生徒一人一人が、①「学習したことや体験したことを実生活に生かす」、②「自分の考えや思いを表現する」、③「粘り強く最後まで取り組む」ことができるようになることにあります。

1学期を振り返ると、生徒一人一人が、「自分をより良くするための挑戦」や「将来の生活に向けた創造」、そして「他者との協働」など、本校での学び(日常の学習や学校行事等)や学校生活において「自分の目標」を意識した頑張りをたくさん見せてくれました。

特に「マラソン大会(全学年)」、「現場実習(2学年)」、「見学旅行(3学年)」を終えた後の、生徒たちは、「自分の目標を達成した!」という達成感や充実感に満ち溢れた表情を見せてくれました。

私たち教職員は、生徒が「自分の目標」を考えたことにより、生徒自身が成長を実感できる学びにつながることで、そして、本校の学びの基本に迫るために大切なものと改めて感じた1学期となりました。

保護者等の皆様、日々の御支援と御協力を賜り、心より感謝申し上げます。皆様のおかげで、生徒たちは安心して学校生活を送り、充実した毎日を過ごすことができました。感謝いたします。

保護者等の皆様におかれましては、ぜひ、お子様の「自分の目標」を聞いていただいた上で、夏休み中の規則正しい生活や自主学習にもサポート(励ます、ほめるで、挑戦を応援!)いただければと思います。

私たち教職員は、2学期も、生徒たちのさらなる成長を支えてまいります。引き続き、御支援と御協力をよろしくお願いいたします。





環境・流通サポート科の取り組み

学科主任 中 村 裕 一

環境・流通サポート科では、「清掃」「製本」「受注」「環境整備」の作業を行っています。

「清掃作業」では、校内で各道具の使い方や適切なコミュニケーションを学び、校外での清掃を行っています。身に付けた清掃技術を活かして、近隣の地域施設（千歳職業技術専門校、ホテル、町内会館、老人介護施設、幼稚園、教会、小学校など）を各学年で分担して定期的に清掃を行っています。

「製本作業」では、校内外からの受注と製品作りを行っています。校外からは、会報誌や中学校、施設等の連絡帳などの依頼を受け、年間を通した取り組みを行っています。

また、年2回行われる即売会の製品作りでは、メモ帳やスケジュール帳、カレンダー作り等を行っています。表紙や中身には、生徒がデザインしたイラストを使用し、内容の選定やレイアウト等、生徒同士で話し合いをしながら、活用しやすい製品になるように取り組んでいます。

「受注作業」では、菓子箱の箱折や窓枠内部品の組み立てを行っており、納品されたものはそのまま製品として使用されるので、衛生面や正確性を意識して取り組んでいます。

「環境整備作業」では、学校敷地内を中心に除草やグラウンド整備、駐車場のライン引き、除雪等、必要に応じて随時取り組んでいます。

これらの作業学習を通し、『働き続ける力』を身に付けるために、「心構え(挨拶・礼儀・感謝・意欲・責任等)」や「適切なコミュニケーション(確認・連絡・報告等)」の向上等、基礎・基本としての土台作りを大切にに取り組んでいます。



生産技術科の取り組み

学科主任 松 尾 礼 子

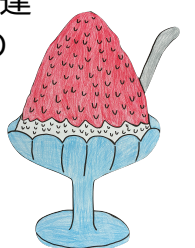
生産技術科では、紙、木、革を主原料とする製品の製造と、園芸の作業を中心に学習に取り組んでいます。紙工では以前から紙すきを行っています。今年度から手作りの水引などと組み合わせて『祝い袋』として製品化することになりました。木工や革工も材料の切り出しから行い、毎年少しずつですが新製品が登場しています。木工については、今年度からヤスリの工程に少し工夫を加え、これまで以上のなめらかさを保つ製品が誕生しています。

来年は千歳空港開港100周年という街の大きな節目の年でもあります。普段お世話になっている地域の皆様と共に、本校らしい内容で何かお祝いができないかと模索している最中で、私自身もワクワクしています。

もの作りや園芸作業は、材料に直接触れ、工程や生育状況を見て比べて確認できるという利点があります。根本的な道具の扱い方や技術の習得はもちろん、『挨拶』、『報・連・相』、『協力』といった働く上での基礎を定着させ、社会自立のための実践力をつけることを目指しています。

年2回ある即売会では、授業で制作した製品を生徒自身が陳列し販売します。自分達の手で生み出した物が実際にお客様の手に渡る体験が大きな自信となり、学習意欲の向上に繋がります。制作の喜びや達成感を味わいながら、「もの」を通して他者との関りを広げ、働く力を身に付けていってほしいと思います。

この学校だよりを手にとっていただいた皆様にも、即売会に足をお運びいただくなどして生徒の学習の成果をご覧いただくと幸いです。





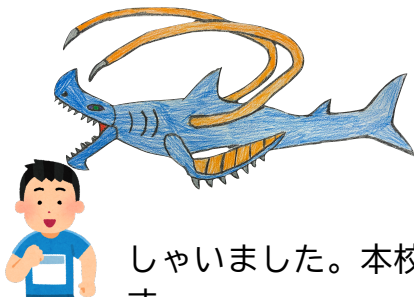
全員ゴールのマラソン大会

教諭 菊地 祐子

5月27日（火）前日の雨にも関わらず、晴天の中マラソン大会を実施することができました。まずは、大きな怪我もなく無事に終わられたことに安堵しております。

生徒たちは、3・5・7・9kmのコースに分かれて、それぞれ最後まで諦めずゴールを目指して頑張りました。4月から体力づくりの時間にグラウンドで20分間走を行っていましたが、3年生は5月に見学旅行を終えたばかり、2年生は現場実習事前学習の真っ最中で十分な練習ができていたわけではありません。それでも、当日は途中で棄権する生徒もなく、全員がゴールに戻ってくることができました。

マラソン大会開催に当たっては、毎年、保護者の皆様にお手伝いをお願いしておりますが、今年も平日にもかかわらず、朝から駆けつけてくださいました。今年度は、マラソンコースの通過ポイントに立っていただき、応援と同時に生徒の様子を確認をしていただく仕事、給水場所で、生徒に水を手渡していただく仕事、ゴールした生徒にスポーツドリンクを配布していただく仕事をお願いしました。職員の人数も限られている中、保護者の皆様のご協力で、生徒が安全にスポーツを楽しむ環境を整えられました。また、応援に駆けつけてくださった皆様も多数いらっしゃいました。本校の教育活動を温かく見守っていただき、深く感謝しております。





見学旅行を終えて

教諭 内 山 敦 史

令和7年度の見学旅行は、第3学年18名が関西方面（奈良県、京都府、大阪府）に行ってきました。北海道とは違う気候や歴史・文化を肌で感じることができました。

1日目は奈良公園、東大寺、京都水族館を見学しました。2日目は鹿苑寺（金閣）、清水寺を見学した後、各グループに分かれて自主研修を行いました。3日目は終日ユニバーサルスタジオで楽しむことができました。最終日4日目は大阪城を見学し、北海道へ戻ってきました。

事前の学習ではスケジュールを確認し、見学先については北海道と比較しながら学習をしました。また、自主研修に向けた準備ではグループごとに分かれて話し合い、食事場所や体験先、見学先などを調べ、研修ルートの計画書を完成させることができました。お小遣いも計画的に使い希望のお土産や買い物ことができました。

北海道にはない歴史建造物や伝統文化、食文化など、様々な場面で学ぶことができました。この経験が将来の楽しみや余暇の幅を広げる機会になることと思います。天候にも恵まれ、最高の研修旅行となりました。



今後の主な学校行事

8月 9月 10月



8月25日（月） 2学期始業式
8月27日（水） 第1回実力テスト
9月16日（火） 3学年現場実習～10/10
9月29日（月） 1学年現場実習～10/03

10月20日（月） 2学年現場実習～31
10月29日（水） 交流学习
※企業向け見学会（4週目）

千歳高等支援学校公式ウェブサイト

